

# 地域課題の解決に向けた取組

## 天然力を活用した低コスト造林に向けて

空知森林管理署 北空知支署

### 1 背景

空知森林管理署北空知支署は石狩川の支流である雨竜川上流両岸に位置した南北に長い区域(1市4町)を管轄し、朱鞠内道立自然公園、暑寒別天売焼尻国定公園をはじめとした豊かな自然に恵まれ、観光やレジャー等を通じ多くの方々に親しまれています。

一方、この地域は道内屈指の寒冷豪雪地帯という厳しい自然条件にあるため幌加内町北部の朱鞠内地域に未立木地が散在しており、森林整備を推進する上での、コンテナ苗植栽による低コスト化や効果的な地表処理方法及び造林後の保育方法のあり方等が課題となっています。

### 2 これまでの取組み

当支署では朱鞠内地域における無立木地の解消に向けた植栽方法の検証として平成25年に「表土振るい落とし※」試験地を設定し、通常の地拵(じこしらえ)とササを除去し、

表層土壌を戻した地拵箇所の成長量比較調査を継続して実施しています。結果は、植栽木及び発生した天然更新木、共に表土を戻した地拵箇所が優位な成長となっていました。

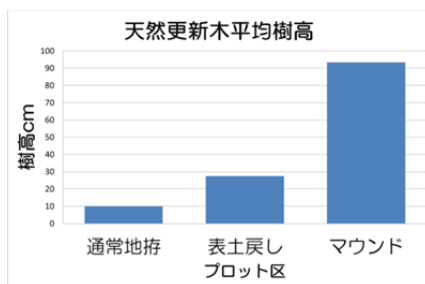


残幅(マウンド)に発生している天然更新木

今年度の調査ではこれまでの調査に加え、地拵時に表土を残し幅に堆積した箇所(以下、マウンド)に発生しているカンパ類の樹高を計測し、通常の地拵箇所の天然更新木(稚樹)と比較したところ、成長量の差は約10倍にもなっていました。

このことから今後もマウンドに発生した天然更新木について、プロット調

査を継続するとともに、密度調整を行うことによる成長量比較調査等も進めていくこととしています。



プロット調査における成長量の比較

### 3 地域との連携

朱鞠内地域は国有林と幌加内町有林、北海道大学雨龍研究林(以下、研究林)が隣接していることから、地域における森林施業の課題を共有し、解決に向けての技術交流の場として、以前より相互見学会を実施しています。今年度も9月と10月に見学会を開催し、国有林での見学会では参加者から、「間伐設計について情報が得られた」

「林道溝渠工の理論・工法等を学ぶ事ができた」等の感想が聞かれ、技術の交流を図ることができました。また、11月には道東地方の森林管理署等職員約50名が研究林を見学し、地表処理等について見識を深めました。



旭川地区職員における北大雨龍研究林見学会の様子

### 4 今後に向けて

引き続き地域の森林を管理する各機関と情報交換を行い、森林の多面的機能の持続的発揮と緑豊かな環境を次世代へ継承するため、多様で健全な森林づくりと森林整備の省力化を推進し、未立木地の解消や機能が低下している森林の再生などに、取り組んで参ります。

※「表土振るい落とし」とは、グラップル等の大型機械により表土をつかみ取りササを除去するとともに、表層土壌を振るい落として埋土種子の発芽を促す地表処理。